

私が考える夢アイデアは、雑音車両を電車につくることです。

私は電車でひまをもてあましているとき周囲を見渡すことがあります。そのとき私のようにひまそうな人を見つけると、お互いのひまつぶしに雑談ひもひまればよいのにもうたいないなあ、と感じています。また、ギターを持っただバンドマンがいたら、今演奏してくれたら楽しいのに、とか、何か幸そう願っている人を見つけたら、話を聞いただけで

いいならいくらでも聞いてあげられるのに、なにも考えとありません。しかし、車内は静かにといいうルールがあるため演奏も聞けなければ人の役に立つこともできません。何より知らない人に話しかけるといいうのは、何かしらのおきかけや後ろ姿がわからない場面だと大変勇気のいるものです。

そこで、車両の一つにひまだけ話しても楽しんでほしい車両があればいいと考えています。車内でやることなくひまなきにその

車両に行き同じようにひまな人と雑談すること
とで楽しい時間を過ごせませすし、幸いことが
ある人もそこに行けば誰かが話を聞いてくれ
ます。むしろあまり知らない人だからこそ話
せることもあるので、同じ電車にいる程度の
仲というのほうでつけです。楽器を持った
バンドマンやネタを知ってほしいお笑いの芸人
や役者達も、そこで関心を集めることが出来
れば、最初は自分に興味のなかっただ人達の心
を動かしたことから自信を持てます。

このように電車が楽しいものになれば、車
絡動が減り環境の負荷も減ることになります
し、おそろく車内のトラブルも減るとにら
んでいきます。今はさわい人に対して静かにして
と禁止するだけなのでお互いが敵対すること
になりトラブルが生まれていきます。しかしこ
の車両があれば、さわいならうってつけの車
両があるよ、というように提案という形にな
るためトラブルも減らしやすくなるのではな
いのでしょうか。

もちろん、完全にトラブルが無くなるのは
難しいですし、度をこえてもいけないため警
備の方においてもわなくてはならず、その為
の人員が必要になります。また他にも解決
すべきことは出てくることでしょう。しかし
この車両が生まれれば、孤独感や抑圧感はい
やされみんなが楽にいられる世の中に変わる
と信じています。